

令和8事業年度
事業計画書

公益財団法人 周南市文化振興財団

令和8事業年度 事業計画書

1. 基本方針

周南市文化振興財団は地域文化振興の使命と役割を担い、指定管理者制度のもと周南市より委託を受け、平成18年度から周南市文化会館、周南市美術博物館、平成20年度から周南市郷土美術資料館の指定管理者として管理運営を行ってきた。令和7年度に前期5年間の指定管理業務期間を終了し、令和8年度からは3施設あわせた形で新たに5年間の指定管理業務の受託することとなっている。引き続き周南市のさらなる文化活性化のためその任を果たしていく。

また平成25年4月に公益財団法人に移行し13年目となる。公益性を求められる法人として、目的に沿った法人運営の重要性を認識し、市民のニーズをいち早く取り入れ、3施設の特性を生かした管理運営を行い、地域の文化活動の拠点として役割を果たしていく。

財団の組織については、ガバナンスの効く体制を維持するため、コンプライアンス研修などを通して、再発防止による改善点の定着に努める。

事業においては、3施設が連携し、鑑賞機会の提供、市民文化活動の振興など幅広い文化事業を通じて、文化の普及、推進に努める。「周南かるちゃあサポートセンター」では、今年度から本格的に始まる中学校の部活動の地域展開にあたり、中学生はもとよりあらゆる世代の文化活動起点として、周南市全域を対象に文化団体との連携を重視した活動に励み、豊かな文化環境をつくる。

また、文化会館の休館を機にチケット販売や会場予約のオンライン化等への取り組みを始める。

財団設立以来培った実績と経験をもとに、様々なネットワークを生かして運営を強化し、利用者のサービス向上に努める。またより一層の効率化を進め、自立した経営を目指す。

2. 周南市文化会館

(1) 管理運営

開館44年を迎える文化会館は、西日本を代表するホールとしての機能を十分に発揮し続けるために、中四国でも高い利用率と集客力を維持し、多彩で豊富な舞台公演で注目されるよう努力を続ける。令和9年2月から予定されている大規模改修に積極的に関わり、改修後も市民の誇りとなる施設となるよう、音響や舞台機構はもとより、利用者の利便性が高まるよう市に対して提案を行っていく。また大規模改修期間中には、市内の他の施設と調整しながら、代替施設の案内を行うなど、市民の文化活動が停滞することのないよう支援していく。

(2) 文化会館事業

ア. ホール事業

市民の声を生かし、幅広く質の高い舞台芸術を提供する。これまでのノウハウに加え、さらなる工夫と熱意をもって事業の推進を図る。ニーズにあった公演をいかに効果的に組んでいくかが重要である。

クラシックでは「西京コンサート 佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー」、「前橋汀子ヴァイオリンリサイタル」の開催を予定している。

伝統芸能では「DRUM TAO」、ポップス分野では「松平健 マツケンサンバコンサート」、「さだまさし」、子ども向けとして「プリキュアドリームステージ」、演芸では「よしもと新喜劇」など魅力的なラインナップで臨む。

その他「高嶋ちさ子」「葉加瀬太郎」「絢香」など幅広いジャンルで多彩な内容を取り上げる。

イ. 企画事業

開館以来、文化の普及をめざし音楽や演劇などとの出会いを提供、生活の中に芸術文化を根付かせることができるよう様々な事業を実施してきた。

将来的にホールへの来館や文化活動への参加に結びつけるための事業として、舞台芸術を地域や学校に届ける「移動文化教室」を実施する。学生時代に本物の芸術にふれる機会を提供する「周南市中学校芸術鑑賞会」は、周南市中学校文化連盟と連携して「劇団四季 こころの劇場」の開催を予定しているほか、ホールで開催するコンサートや公演などをより楽しく鑑賞するための「芸術鑑賞講座」を実施する。また地元音楽家を起用した独自公演、親子で楽しめる「0歳から楽しむコンサート」、会員招待演奏会「カーテンアップコンサート」を行う。

特色のある事業として周南市出身の詩人、まど・みちおの世界を伝える「第31回まど・みちおコスモス音楽会」を開催する。

文化振興財団会員については、継続率とともに事業への参加率を高め、舞台芸術、鑑賞芸術に対するサポーターづくりにつなげる。月刊紙「かるちゃあ通信花鳥」は、山口県全域を対象に幅広い文化情報を提供する。また研修や他館の事業案内、チケット販売等を通じてネットワークを広げていく。

令和8年度に本格的にスタートする中学校部活動の地域展開に向け、「周南かるちゃあサポートセンター」の機能を十分に発揮し、登録団体の紹介や文化活動体験会等を通して、子どもたちの「やってみたい」をサポートしていく。

ウ. その他

子どもからお年寄りまでのあらゆる世代の事業を実施し実績を積んできた経験を生かし、地域の学校や市民センター、新聞社や放送局、地元企業など様々なネットワークを広げ、事業運営を安定させる。

ホール事業一覧

(公益目的事業1-1)

事業名	開催日	内 容
西京コンサート 佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 ヴァイオリン:三浦文彰	5月30日	世界的指揮者佐渡裕と氏が音楽監督を務める新日本フィルハーモニー交響楽団、実力派ヴァイオリニスト三浦文彰の競演で、ブラームスのヴァイオリン協奏曲、交響曲第1番を演奏する。
前橋汀子ヴァイオリンリサイタル ～夢とロマンス～珠玉の名曲集	6月16日	日本を代表するヴァイオリニスト前橋汀子のリサイタル。フランクのヴァイオリンソナタの他、クライスラー、フォーレなど珠玉の名曲を演奏する。
DRUM TAO (仮称)	6月20日	太鼓を驚異のパフォーマンスで表現するTAOのコンサート。
松平健 マツケンサンバコンサート2026	8月30日	老若男女に愛されるマツケンこと松平健のコンサート。マツケンサンバで歌って踊って大盛り上がるのステージ。2回公演。
高嶋ちさ子(仮称)	9月26日	高嶋ちさ子を中心に12人のヴァイオリニストが、クラシックの名曲など様々な曲をトークを交えて演奏する。
さだまさし2026年ツアー (仮称)	10月17日	日本のシンガーソングライター。「案山子」「関白宣言」等代表作も多い。軽妙なトークと共に綴るソロコンサートは前人未到の4500回を超える。
葉加瀬太郎コンサート (仮称)	10月25日	ヴァイオリニスト、作曲家、音楽プロデューサー。毎年恒例の全国ツアー。毎回違ったパフォーマンスで観客を楽しませてくれる。
J-POP	11月	内容未定
絢香ライブ・コンサート2026 (仮称)	11月14日	日本を代表するシンガーソングライター。朝の連続テレビ小説『花子とアン』の主題歌「にじいろ」は、現在もロングヒットを記録中。2026年2月1日にデビュー20周年を迎えた。
吉本新喜劇&バラエティショー (仮称)	11月21日	ベテランから若手まで100人以上の座員を抱える吉本新喜劇。本場、大阪なんばグランド花月でも大人気の吉本新喜劇のステージショー。
プリキュアドリームステージ	11月22日	テレビ朝日系列で放送中の人気アニメ「プリキュア」のステージショー。

企画事業一覧

(公益目的事業１－１)

事業名	開催時期	内 容
移動文化教室	6～12月	学校や地域と連携して音楽演奏会などの文化芸術を届ける事業。
サロンコンサート	6月28日	普段コンサートに参加しづらい幼児ファミリー向けクラシック演奏会「0歳から楽しむコンサート」を実施する。地元音楽家を起用、一般も鑑賞可能。
出光コンサート	7月4日	出光興産(株)の提供で実施。若手音楽家を起用した演奏会。
第31回 まど・みちおコスモス音楽会	11月16日	周南市出身の詩人まど・みちおの詩と歌で構成するコンサート。市内幼稚園、保育園年長児の合唱と、地元音楽グループによる創作舞台で構成。
会員招待演奏会	1月30日	周南市にゆかりのある若手演奏家によるコンサート「カーテンアップコンサート」を開催。

(公益目的事業１－２)

事業名	開催時期	内 容
芸術鑑賞講座	5月～6月	ホール事業で開催する演奏会や公演の内容を解説する講座。音楽や演劇等の楽しみ方を知ってもらう。
バックステージツアー	8月11日	オーケストラピットや調光室、奈落や楽屋などふだん見られない舞台裏を案内する。
周南市中学校芸術鑑賞会	11月26日	周南市中学校文化連盟と共催。劇団四季のミュージカルを鑑賞。
情報紙発行 「かるちゃあ通信・花畠」	月1回	文化会館、美術博物館、郷土美術資料館の自主事業や催し、後援事業を案内。7,000部程度発行。
会員の運営	通 年	会員の確保並びに運営。
情報ネットワークの推進	通 年	他施設との交流の推進、プレイガイド運営等。

(法人)

事業名	開催時期	内 容
周南かるちゃあ サポートセンター	通 年	市内中学校、文化系クラブ活動の地域への展開を支援、さらに市民の芸術文化活動を推進するためのセンターの運営。

3. 周南市美術博物館

(1) 管理運営

平成7年に開館した美術博物館は、本地域における文化の拠点施設としてその重責を担っている。今年開館31年を迎え、これまで以上に地域に密着した親しみやすい館として市民の期待に応えていくための運営を行い、諸整備を進める。

特に、国宝を展示、保管できる登録博物館として貴重な美術作品・歴史資料を収蔵、展示することから、適正な保存、展示環境の維持管理、保安警備には万全の体制で臨む。また、より良い環境を目指すため施設の改善について市に提案し整備を進めている。そのほか「博物館法の一部を改正する法律」により、令和5年から新たに始まった博物館登録制度において、経過措置期間（令和10年3月31日まで）が設けられていることから、市とともに再登録申請の準備を進めていく。

グッズ売場ではオリジナル商品の販売、展覧会開催時にはそれに合わせ人気の高い商品を仕入れるなど、品揃えを工夫する。喫茶事業においても展覧会や季節に合わせたメニューの提供など、来館者のニーズに応えつつ市民や来館者にとって憩いの場、安らぎの場となるよう努める。

「美術博物館の音楽会」として親しまれているサロンコンサートについては、平成11年度から開催し好評を得ており、美術博物館に親しんでいただくひとつの機会として実施する。

(2) 美術博物館事業

ア. 展覧会事業

周南市からの受託事業である特別展覧会と周南市美術展、しゅうなんアート・ナウ、並びに財団の特性を生かした自主事業である企画展覧会を積極的に展開する。

特別展覧会「渡辺おさむ展(仮称)」では、スイーツデコの技術をアートに昇華させた第一人者として、国内外で注目されている、周南市出身の現代美術作家・渡辺おさむの世界を紹介するとともに、約20年にわたる創作活動と作品の変遷をたどる。

「周南市美術展」は、より多くの市民に、気軽に参加できる総合美術展として一層の普及を図る。

「しゅうなんアート・ナウ」では郷土で活躍する作家の新作を発表する場として、周南美術の「今」がわかる作品を紹介する。

企画展では、「魯山人の宇宙展」と「ねずみくんのチョッキ展」を開催する。「魯山人の宇宙展」では、笠間日動美術館が所蔵するコレクションの中から、美食家として知られ幅広く才能を発揮し、生活に根ざした斬新で個性的な作品を生み出した北大路魯山人の陶芸、書、絵画などを展示し、魯山人の軌跡と芸術世界を紹介する。「ねずみくんのチョッキ展」では、刊行から50年を迎え、発行部数は累計500万部を超える人気絵本『ねずみくんのチョッキ』シリーズの原画などを中心に、なかえよしを・上野紀子夫妻が二人三脚で作りだした豊かで温かな世界を紹介する。

イ. 企画事業

資料の収集、保存管理、調査・研究、展示公開、教育普及等が円滑に機能する運営を図る。

常設展示室については、収蔵資料を展示する「コレクション展示室」、写真家・林忠彦の業績を顕彰する「林忠彦記念室」、徳山地域の歴史を通観する「徳山の歴史」、まど・みちおの絵画作品や資料を紹介する「まど・みちおコーナー」で、それぞれの特徴を生かしながら内容の充実を図る。資料の調査・研究については、郷土に関わりのある作家や資料を掘り起こし、将来の資料収集や展覧会開催に備える。教育普及事業では、美術博物館講座として「子ども芸術ワークショップ」

「美術博物館探検ツアー」などを実施し、美術や歴史さらに博物館事業全体に興味をもってもらよう働きかける。

このほか支援組織の育成、情報の収集・提供についても積極的に推進し、地域とのネットワークづくりに努める。

特色のある事業については、林忠彦賞の運営を中心に、林忠彦記念室とも連携を図りながら情報発信に努め、創設時から標榜している「写真のまち・周南」の全国発信とともに、授賞式と受賞記念写真展を周南で開催し、地域での定着を図っていく。また「まど・みちおコーナー」を拠点に、引き続きまど・みちおを顕彰する事業や研究を推進するほか、全国への発信にも努める。

ウ. その他

美術博物館の活動に関心をもってもらうために、事業実施にあたってはマスコミ等に周知する。また美術博物館、林忠彦賞、重点作家の宮崎進やまど・みちおのホームページを管理し、SNSを通じて、随時最新のスケジュールや活動状況を紹介する。

4. 周南市郷土美術資料館

(1) 管理運営

平成7年に開館した郷土美術資料館は、開館31年を迎える。画家・尾崎正章の業績を顕彰する施設として、作品の研究、保存、公開と地域文化の振興を目的に活動してきた。過去の実績のうえに、周南市美術博物館で蓄積したノウハウや永源山公園内という立地上の特色を生かし、芸術を身近に感じることができる事業運営を行う。貴重な美術作品を収蔵、展示することから、適正な保存環境の維持管理、保安警備に対して万全の体制で臨む。

(2) 郷土美術資料館事業

常設展は、尾崎正章の業績を顕彰するため、テーマを設けて作品を紹介する。企画展は、地域ゆかりの様々な芸術を紹介する展覧会を開催する。その他、市内の個人、団体並びに幼稚園、保育園、小学校などを対象とした展覧会を誘致し、地域の芸術や造形教育の振興を図る。

施設の特性を生かし、ワークショップ、生演奏や懐かしいレコードを利用したコンサートなど、館をより身近に感じてもらう事業に取り組む。

展覧会事業一覧

(公益目的事業 2 - 1)

事業名	会期	内容
第34回林忠彦賞 受賞記念写真展	4月25日 ～ 5月10日	林忠彦賞の受賞作品を展示する。受賞作は林忠彦コレクションの中で永久保存する。
魯山人の宇宙展	6月12日 ～ 7月26日	美食家として知られる北大路魯山人は、幅広く才能を発揮し、生活に根ざした斬新で個性的な作品を生み出した。笠間日動美術館が所蔵するコレクションの中から、陶芸、書、絵画、漆芸など約80点を展示し、魯山人の軌跡と芸術世界を紹介する。
誕生50周年 ねずみくんのチョッキ展	8月7日 ～ 9月27日	人気絵本『ねずみくんのチョッキ』シリーズは刊行から50年を迎え、発行部数は累計500万部を超える。本展では、原画やスケッチなどを中心に、なかえよしを・上野紀子夫妻が二人三脚でつくりだした豊かで温かな世界を紹介する。
周南市学校美術展	10月16日 ～ 10月18日	周南市の幼稚園・保育園、小中学校の園児、児童、生徒による選抜美術展。
渡辺おさむ展 (仮称)	11月13日 ～ 12月27日	周南市出身の現代美術作家・渡辺おさむの世界を紹介するとともに、約20年にわたる創作活動と作品の変遷をたどる。
周南市美術展	前期 R9年2月10日 ～2月14日 後期 R9年2月17日 ～2月21日	周南市に在住、または通勤・通学・文化講座・文化団体に所属する人を対象とした総合美術展。平面、立体、書、写真の4部門で作品を募集する。
しゅうなんアート・ナウ	R9年3月13日 ～3月21日	周南市を中心に広く活動する作家の新作を一堂に展示し、地域美術の振興を図る

企画事業一覧

(公益目的事業２－１)

事業名		開催時期	内 容
常設展示室	コレクション展示室	通 年	収集資料及び関連資料の展示 企画展示室を補う第二会場
	林忠彦記念室	通 年	林忠彦の芸術を顕彰 オリジナルプリントの展示替
	徳山の歴史	通 年	特設コーナーの運営 実物資料の展示替
	まど・みちおコーナー	通 年	まど・みちおの芸術を顕彰 絵画作品、資料の展示替

(公益目的事業２－２)

事業名	開催時期	内 容
資料の調査・研究	通 年	美術博物館資料の調査と研究 資料の研究成果の発表、紀要の作成
研究成果の蓄積・活用	通 年	資料調書・台帳の整備、収蔵目録の作成 資料の貸出、著作権の管理

(公益目的事業２－３)

事業名	開催時期	内 容
美術博物館講座	随 時	子ども芸術ワークショップ 美術博物館探検ツアー (美術博物館の裏側を探検し魅力をPR) 各種講座の開催 (美術・歴史講座、まど・みちおを語る講座等)

(公益目的事業２－４)

事業名	開催時期	内 容
林忠彦賞の運営	通 年	「社会は心を撃つ写真をさがしています」のキャッチフレーズのもと、その時代を最も象徴する写真作品を全国に発信する。写真界で活躍する作家の発掘を目指す。林忠彦記念室と一体的な運営を図る